



# 富士河口湖町教育センターだより



NO.12 平成19年2月発行



## 「福祉体験プログラム」実施！

平成19年1月29日（月）小立小学校にて『福祉を考えよう』学習体験プログラムを実施しました。町の社会福祉協議会と点字サークルのご協力のもと、開催することができました。

今回小立小学校4年生が参加したのは、「アイマスクを使い目の不自由な方や介助者の立場を体験する」「車いすに乗っている方や介助者の立場を体験する」「点字の特徴と作り方」の3種類です。時間の都合上すべてを体験することができないので、3グループに分かれて実施しました。

アイマスクと車いすは二人1組になり、体験者・介助者を交代で実施しました。



## 参加者の声

\*\*\*\*『アイマスクの体験』\*\*\*\*

◎目の不自由な人はたいへんだと思います。できる事はやってあげたいです。かいだんがとてこわかったので、手すりがあった良かったです。◎はじめはこわいだけだと思っていたけれど、なれている学校でも目が見えないことがすごく大変でびっくりしました。

\*\*\*\*『車いすの体験』\*\*\*\*

◎車いすをおしてのぼり坂がけっこうおもかったです。乗ったときだんさの所でちょっと前のタイヤをうかせるときがこわかったです。もっと急な坂だったらもっともっこわいだろうな◎のっている人はとても不便だなと思った。おすほうはのっている人の気持ちを考えなければいけないからすごく大変だった

\*\*\*\*『点字の体験』\*\*\*\*

◎いろんな文章を打ってとっても楽しかったです。でもけっこう力を入れるので、点字を打つ人は大変だと思います。この体験学習はとてもためになりました。◎点字を打つ物に名前がついてびっくりしました。かんたんそうだけど、ちょっとむずかしかったです。

点字は、50音順や記号の説明を受けてから、全員が自分の名刺を作る作業に取り組みました。それぞれ参加した児童の感想は右記の通りです。

今年度の学習体験プログラムはすべて終了となりました。車いすを乗せる車の存在や、介助者の立場、点字の作成など、初めて知った児童も多く、大変有意義なプログラムとなりました。実施に伴い、ご協力をいただいた団体に感謝いたします。また来年度にむけて事業を検討していきたいと思ひます。

